

令和8年度「いわて新農業人チャレンジファーム」第14回研修を開催しました

岩手県農業公社就農支援部では、令和8年9月4日（金）、5日（土）に雫石町南畑のコテージむらにおいて第14回研修を行いました。

講義では、ブロッコリーとキャベツの栽培方法について学び、実習はトマトの収穫からスタートしました。

続いて、ピーマンとなすの剪定に挑戦。以前の研修でイボ竹に誘引したそれぞれの株において、ピーマンは側枝を2～3節で止め、なすは切り戻し剪定を行いました。「どの枝を切ればいいんだろう…」と、最初は複雑に伸びた枝を前に判断に悩む受講生が多く見られました。

そこで指導員からは、株の内部に日光が入るように剪定するよう受講生にアドバイスし、各品目の着果習性を復習しながら一人ひとり丁寧に指導に当たりました。受講生は指導員の

アドバイスによりコツを掴み、最後には作業前と比較して見違えるほどすっきりと整枝することができました。

その後はキャベツとブロッコリーの苗を定植しました。今年度は、これで予定していた野菜の定植を全て終了しました。

続けて、にんじんの一部とえだまめを収穫したあと、実習野菜全体の生育状況を指導員と共にじっくり観察しました。

手際が良くなる皆さんの頼もしい姿に事務局員も確かな成長を感じました。

次回の第15回研修は、9月11日（金）、12日（土）に同会場にて、堆肥づくりや秋じまいについての講義のほか、実習野菜の栽培管理や収穫作業を行う予定です。



なすの切り戻し剪定を実演する指導員（右から2番目下）



指導員（右）とともにピーマンの剪定をする受講生（左）



栽培畝へキャベツの苗を定植する受講生



栽培畝からえだまめの株を抜き取る受講生